

住居所調査報告書

令和X年(20XX年)X月X日

☒	現在、対象者が下記場所に居住中であることに間違いありません。
☐	現在、対象者が下記場所に居住中でないことが確認されました。
☐	その他

調査員氏名	担当 調査 太郎 株式会社Japan PI 探偵業届出: 東京30160155 大阪62161286 本社: 〒1690074 東京都新宿区北新宿2-6-20-504 URL: www.japanpi.com / 電話: 03-3362-3939 FAX: 03-4496-4663 / E-mail: info@japanpi.com	
受送達者被告	XX XX (以下、同人)	

1, 総括

[☐ 訴状記載 ☐ 申請書(月 日付)記載]

の住所について下記調査の結果、

☒ 居住中である ☐ 居住中でない ☐ その他

事を確認しました。

2, 現地状況

調査日時	令和X年(20XX年)X月X日 X時X分頃
調査場所	埼玉県XX市XX町X-XXX-X
住居の種類	第一種住居地域にある二階建て木造の貸家
表札	☐ あり ☒ なし ☐ 確認不能(店舗看板が設置、居住部玄関に表札なし)
郵便受け	☒ あり ☐ なし ☐ 確認不能(XX市XX町X-XXX-X XX)
電気メーター	☒ あり ☐ なし ☐ 確認不能(稼働中)
ガスメーター	☒ あり ☐ なし ☐ 確認不能(稼働中)
洗濯物	☐ あり ☒ なし ☐ 確認不能
窓の様子	1階の店舗は消灯していたが、2階の2室は室内灯が点灯している
車両自転車等	☒ あり ☐ なし ☐ 確認不能(ekワゴン／銀／さいたま580やXX-XX)
直接訪問時	☒ 応答あり ☐ 応答なし
詳細状況	同物件は2階建の家屋で、1階正面側は「XX不動産」と同人名義と同一の店舗があり、側面に居住用の玄関が配置されていた。XX不動産は当日閉店していたが、2階の2室から室内照明が点灯していることを確認し、何者かが在宅である模様であった。当方が家屋の側面にある玄関にてインターホンで呼出をすると、女性が現れ当方に対応した。 当方は女性に訪問の目的を告げると都合が悪くなった様子になった。そして「XX XXさんですか?」と尋ねると、女性は「X本です」と名字を一字変えて否定した。当方は続けて、これまでに本件における送達があったか尋ねると、女性は「あったかもしれないが覚えていない」と曖昧に答え、慌てた様子でドアを閉じた。 当方は東隣のA宅を訪問し、同物件について取材したところ、A氏は同物件にXX氏が居住していると証言した。A氏によるとXX氏の特徴は40代後半、身長は165cm程度で女性としては身長が高いと述べ、その特徴は当方が取材した相手と一致した。当日は休業していたが同人はXX不動産を経営しており、A氏は会うと簡単な挨拶をする程度の仲だった。また、近所で同人について悪い噂はなかったという。 当方は近隣住民から同人が同物件に居住している証言を得て現地確認を終了した。翌日、当方は原告に同物件で話した女性の写真を見せたところ、原告は同人であると答え、間違いなく、同物件に同人が居住していることを確認した。

	埼玉県XX市XX町X-XXX-X 全景
	1階正面 XX不動産看板
	2階室内灯点灯箇所(西側)
	2階室内灯点灯箇所(北側)

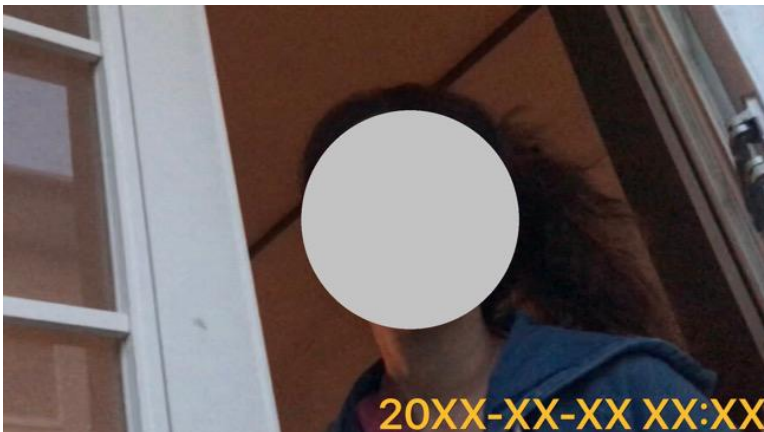


ポスト表記
XX市XX町X-XXX-X XX

チラシのみ投函されていた



1階北側
電気メーター



直接訪問
XX XX 氏への取材

40歳前後の外見、身長は約165cm
グレーのパーカーに濃色のジーンズ
を着用。
調査翌日、原告により被告本人と認
証された



東隣・XX町X-XXX-X
A氏への取材訪問

A氏は50歳前後の男性
当方がインターホン呼出すると玄関
ドアから現れ、直接取材に応じた。